

2学期が始まって1週間が経とうとしています。家庭そして学校生活のリズムは整いましたか？体とともに心も整いましたか？家庭という社会は家族だけの小さな社会。しかし学校という社会は家庭よりも大きな社会です。たくさんの人と関ることで、楽しいこと、嬉しいことが多くなる半面、気を遣ったり、悩んだりすることも多くなるでしょう。でも、人は人と関わって大きく成長していきます。一人では生きていけません。だからこそ、2学期の始業式で話したように「人との出会いを楽しみ」「人との関りを重んじ」「他者を認め」「自分を大切にしてほしい」と校長先生は話したのです。

芝中生のみんなは決して一人じゃない。何かに悩んだり、躓いたときは一番頼れる家族がいる。そして友だちや先生たちもいます。もし、今現在誰にも言えずに抱えていることがあるならば、いつでも相談してください。あなたが一番信用している人に頼ってください。2学期が始まり1週間の区切りとして伝えておきます。

最後に、詩人であり書家である「相田みつを」さんの「自分の番 いのちのバトン」を紹介します。

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で千二十四人
二十代前では・・・・？
なんと百万人を超すんです
過去無量のいのちのバトンを受けついで
いまここに自分の番を生きている
それがあなたのいのちです
それがわたしのいのちです

今のあなたの存在は、多くの命のバトンが渡されてきた結果です。そして、あなたの存在には大きな意味と価値があるんだという意味です。互いが互いを認め、自分自身を大切にしてください。